

活動報告

平成22年度 厚生連放射線技師会学術活動

糸魚川総合病院、放射線科；診療放射線技師

わかばやし ふじ あき
若林富士昭

厚生連放射線技師会は平成22年度より新たに年2回の放射線治療研修会を始めました。これは上越総合病院移転新築を機に開始された高度な放射線治療における諸問題を話し合っている中で、治療担当技師育成を厚生連病院全体の問題として考えるべきとの意見が多く出された結果です。今後、佐渡総合病院にも放射線治療装置導入が予定されておりますがこの研修会を情報交換の場としても大いに役立てていきたいと思っております。

その他の研修会につきましては、例年通り「厚生連放射線技師会研修会」、「新採用・3年未満技師研修会」、「技師長・主任研修会」を行いました。

以下、平成22年度各研修会の活動内容を示します。

【第112回厚生連放射線技師会春季研修会】

時 平成22年6月12日（土）
所 長岡中央総合病院 講堂

内容 特別講演

「ネットワークシステムの現状と展望」

講師 株式会社富士通 ヘルスケアビジネス統括営業部
健康情報ビジネス部 画像グループ 樋口 幸一 先生

パネルディスカッション

「厚生連におけるネットワークシステムの現状」

司会 村上総合病院 折笠 康宏

パネリスト

- | | |
|-----------|-------|
| 1 村上総合病院 | 富樫 大輔 |
| 2 三条総合病院 | 仲倉 敏明 |
| 3 刈羽郡総合病院 | 佐藤 茂樹 |
| 4 糸魚川総合病院 | 小川 一紀 |

【要旨】

今回の研修会のテーマは「ネットワークシステム」である。初めに第5次病院情報システムの導入担当であった富士通より講演して頂き、その後第5次システムに更新された4病院でパネルディスカッションを行った。富士通の講演は特に放射線部門に関連した「HIS・RIS・PACS」についての大変詳しいものであり、電子カルテへの取り組み・RIS導入による運用の変化・フィルムレス化による検討事項・地域との連携システム・標準化についての取り組み等の内容であった。その後のパネルディスカッションでは冒頭で村上病院の折笠技師長より厚生連におけるネットワークシステムの導入の歴史と今後の課題について説明してもらい、次いでパネリストより第5次システム導入時の問題点や今後についての討論があった。

総会（役員選挙有り）・学会参加報告・諸連絡

【第113回厚生連放射線技師会秋季研修会】

時 平成22年11月27日 (土)
所 長岡中央総合病院 講堂

内容 特別講演

「3.0T MRI について ～1.5T と何が違うのか?～」
講師 フィリップスエレクトロニクスジャパン
営業本部 IS モダリティスペシャリスト
MR 坂元 哲郎 先生

会員報告

「3.0T MRI の実際 ～1.5T との併用～」
長岡中央総合病院 荻原 貞義

会員研究発表 8題
総会・学会参加報告・諸連絡

【平成22年度新採用・3年未満技師前期合同研修会】

時 平成22年7月10日 (土)
所 長岡中央総合病院 検診棟会議室
対象者 初年度 岩田 直也 (佐渡)、陸 真利子 (上越)、笠原 良平 (上越)
田村 俊 (長岡)、保坂 昌伸 (糸魚川)
3年未満 上村 直史 (糸魚川)、石川 陽子 (長岡)、高橋沙緒理 (佐渡)

内容 ① 講演「造影剤のリスク」 講師 第一三共製薬株式会社
② テーマ「腹部」
ア) 解剖 (上腹部を中心に) 丸山小百合
イ) CT 五十嵐 豊
ウ) MRI 八藤後拓哉
エ) 症例検討会 佐藤 誠、今井 強

【平成22年度新採用・3年未満技師後期合同研修会】

時 平成22年11月13日 (土)
所 長岡中央総合病院 検診棟会議室
対象者 初年度 岩田 直也 (佐渡)、陸 真利子 (上越)、笠原 良平 (上越)
田村 俊 (長岡)、保坂 昌伸 (糸魚川)
3年未満 上村 直史 (糸魚川)、石川 陽子 (長岡)、高橋沙緒理 (佐渡)

内容 ① 課題プレゼン (3年未満研修者)
ア) 「胆石症」 糸魚川総合病院 上村 直史
イ) 「踵骨について」 長岡中央総合病院 石川 陽子
ウ) 「乳腺 MRI」 佐渡総合病院 高橋沙緒理
エ) プレゼンに対する検討会 出席者全員参加型
② テーマ「整形領域 腰椎」
ア) 解剖 丸山小百合
イ) 一般撮影 五十嵐 豊
ウ) CT 八藤後拓哉
エ) MRI 佐藤 誠
オ) 臨床画像検討会 折笠 康宏

【平成22年度前期放射線治療研修会】

時 平成22年6月13日(日)
所 長岡中央総合病院 検診棟会議室

内容 教育講演
「IMRTについて」 上越総合病院 丸山 裕崇 技師

講演
「放射線治療領域における最近の動向」
新潟大学 大学院保健学研究科 准教授 関谷 勝 先生

全体討議

【要旨】

今年度より新たに始まったこの研修会は、近年益々高度化する放射線治療業務に携わる診療放射線技師の育成と治療装置を有する施設間の情報交換の場としての意味を持つ。第1回目の今回は上越総合病院の丸山技師より強度変調放射線治療についての詳細な解説をしてもらった。実際の患者様に照射するまでには多くの準備が必要であり又、治療後にもその検証作業がとても重要であるとの内容であった。

関谷先生の講演は放射線治療需要増加の背景・診療報酬の変遷・医療事故・癌治療成績の均一化の取り組みについてであったが、特に放射線治療に携わる人員の不足が深刻であり10年後には今の2～3倍の人員が必要との試算がなされ人材育成が急務との事であった。

【平成22年度後期放射線治療研修会】

時 平成22年12月11日(土)
所 上越総合病院 会議室

内容 教育講演
「標準測定法10について」 東洋メディック 川村 一人 先生

全体討議
測定実習
各施設意見交換

【平成21年度技師長・主任研修会】(22年度は23年2月開催予定)

時 平成22年2月27日(土)
所 長岡中央総合病院 中央検診センター会議室(2階)

内容 講演1
「AI(オートブシー・イメージング)について」
(当院での経験、流れについて)
講師 刈羽郡総合病院 放射線科医長 大西 裕三 先生

講演2
「放射線治療を行う施設の責任者の役割、心構え」
「放射線治療装置導入にあたって」
講師 県立中央病院 放射線科(技師) 大阪 暁胤 先生

質問や情報交換(施設検査などへの対処方法)
(放射線治療担当者の育成など 県技師会の現状など)

講演3
「新潟医療センター(旧小針病院)の厚生連化の経験」
講師 新潟医療センター 放射線科技師長 坂上富司男 先生

【要旨】

午前の部は講演1として刈羽郡総合病院の大西裕三先生よりAIについて講演して頂いた。AIとは死後の患者様における非破壊検査であり、おもに死後CT検査(PMCT)のことを指す。PMCTは特に死亡の内因検索に有用であり約3割の確定率があるとの事であった。AIの利点としては患者様家族から承諾が得られやすい・状態保存が出来る・迅速に結果が出る(解剖は2～3カ月)・費用が安いなどが有り、問題点としては撮影費用抛出先のあいまいさ・一般患者様のいる日中に撮影しづらい・マンパワー不足などが挙げられる。

午後の部の大阪暁胤技師の講演2は新たに放射線治療装置導入するにあたっての放射線技師の責任者としての役割と心構えについてであり、装置導入の1年前からの準備内容・各関係機関との係わりや施設検査などへの対処方法である。

最後の坂上技師長の講演3は小針病院の厚生連移譲において経験した多くの苦勞話であったが、現在もなお問題が山積みとの話であった。

【平成22年度学会等派遣】

日本放射線技術学会 第66回総会・学術大会（横浜）	2名
日本放射線技師会 第26回総合学術大会（東京）	3名
関東甲信越放射線技師会学術大会（群馬）	2名
日本放射線技術学会 第38回秋季学術大会（宮城）	2名
日本放射線技術学会東北部会 第48回学術大会（青森）	2名

(2010/11/19 受付 (2011-07))